

令和6年度 みやぎ環境交付金事業（計画・実績）概要書

市町村名：大崎市

大崎市居久根ネイチャー・ポジティブ実証事業

<事業目的>

本市を含む「色麻町，加美町，涌谷町，美里町」の1市4町は，平成29年に「世界農業遺産」に認定され，屋敷林「居久根（いぐね）」と水田の生物多様性が高く評価された。屋敷林「居久根」の周辺水田の生物多様性に及ぼす影響について，調査を実施するとともに，所有者，農家，住民，企業，NPO・NGO，自治体が連携して，自然環境の保全に取り組むため，普及啓発を実施し，地域の新たな価値の創出を図った。

<事業内容>

令和6年度

○居久根及び水田の生物多様性の定量化調査（モデル地区）

- ・学識経験者からの指導 6月3日
- ・学識経験者等と連携し，委託調査を実施（6月～3月）
- ・調査周辺地域及び生物多様性に関心のある市民に向け，大崎耕土生物多様性勉強会の開催（3月1日）
- ・一般市民・企業等向け居久根を核としたネイチャー・ポジティブに関する研修会の開催（3月18日）

<事業成果>

○当該事業の調査地域の一つが，令和6年度後期「沢田上地区の居久根・周辺水田」として自然共生サイトに認定された。屋敷林としての自然共生サイト認定は全国初の事例。居久根の生態系サービスが充実していることや生物多様性の価値が評価された。

○居久根の保全・活用に関する機運醸成を目的として，一般向け・企業向けにネイチャーポジティブシンポジウムを開催したところ，参加した複数企業から居久根の保全活動に参加したいという意向があった。

○委託事業「居久根及び水田の生物多様性の定量化調査事業」により，以下の成果が得られた。

◆居久根 ＝ CO2 の削減 ＋ 森林性の動物（鳥類）の生息・繁殖場所であることを確認した。

◆水田農業が盛んである ⇒ 水辺環境が機能している

＝ 水辺を好む小型動物（カエルなど）や湿生植物の生息・生育場にもなっていることを確認した。

◆居久根や水田（水辺）環境により，環境が多様化

◆生き物も多様、それぞれが好んだ環境を選択して生息・生育

居久根やその周辺の環境は，とても貴重で重要な存在であることが確認された。